

集古日記卷二

特 別  
^10  
7350  
2







古

水

右より左へ

古の遺蹟なりと云ふに其の跡を尋ねしに

山にありて其の跡を尋ねしに

山にありて其の跡を尋ねしに

山にありて其の跡を尋ねしに

山にありて其の跡を尋ねしに

山にありて其の跡を尋ねしに

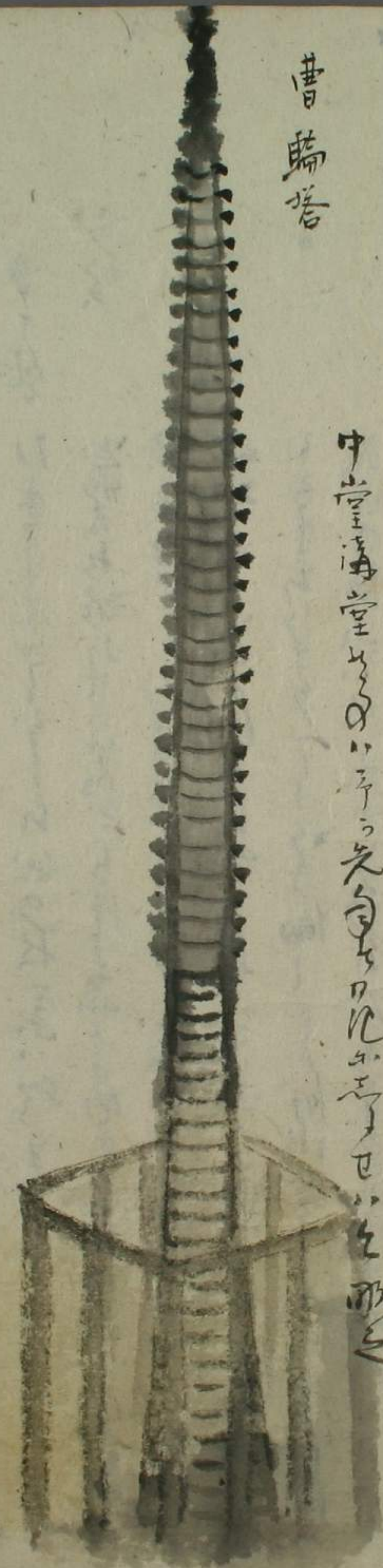
山にありて其の跡を尋ねしに

山にありて其の跡を尋ねしに

新捕りて雲騎  
良山廻りて  
多の山廻りて  
物にありて  
物にありて

曹臨塔

中堂清堂より



浄土院門前  
噴水塔



黄金

銀

銅



大伴

みづのうへに

大伴のうへに

湖と雪懐

湖克五郎家書社

十二自前昔後也

初名後登車馬

國文橋通原上

石山

石山と石山

ふくさ

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

石山

石山

石山

ふくさのうへに

社に

婦の

解

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに

ふくさのうへに































竹ノ言

久能山

和名

聖一國原

杉ノ山

江尻

此山並に言ふ所左に... 山ノ言

久能山ノ右ノ山ノ言... 山ノ言

ノ山ノ言... 山ノ言

ノ山ノ言... 山ノ言

ノ山ノ言... 山ノ言

ノ山ノ言... 山ノ言

江尻

薩埵嶺

江尻ノ言... 山ノ言

薩埵嶺ノ言... 山ノ言

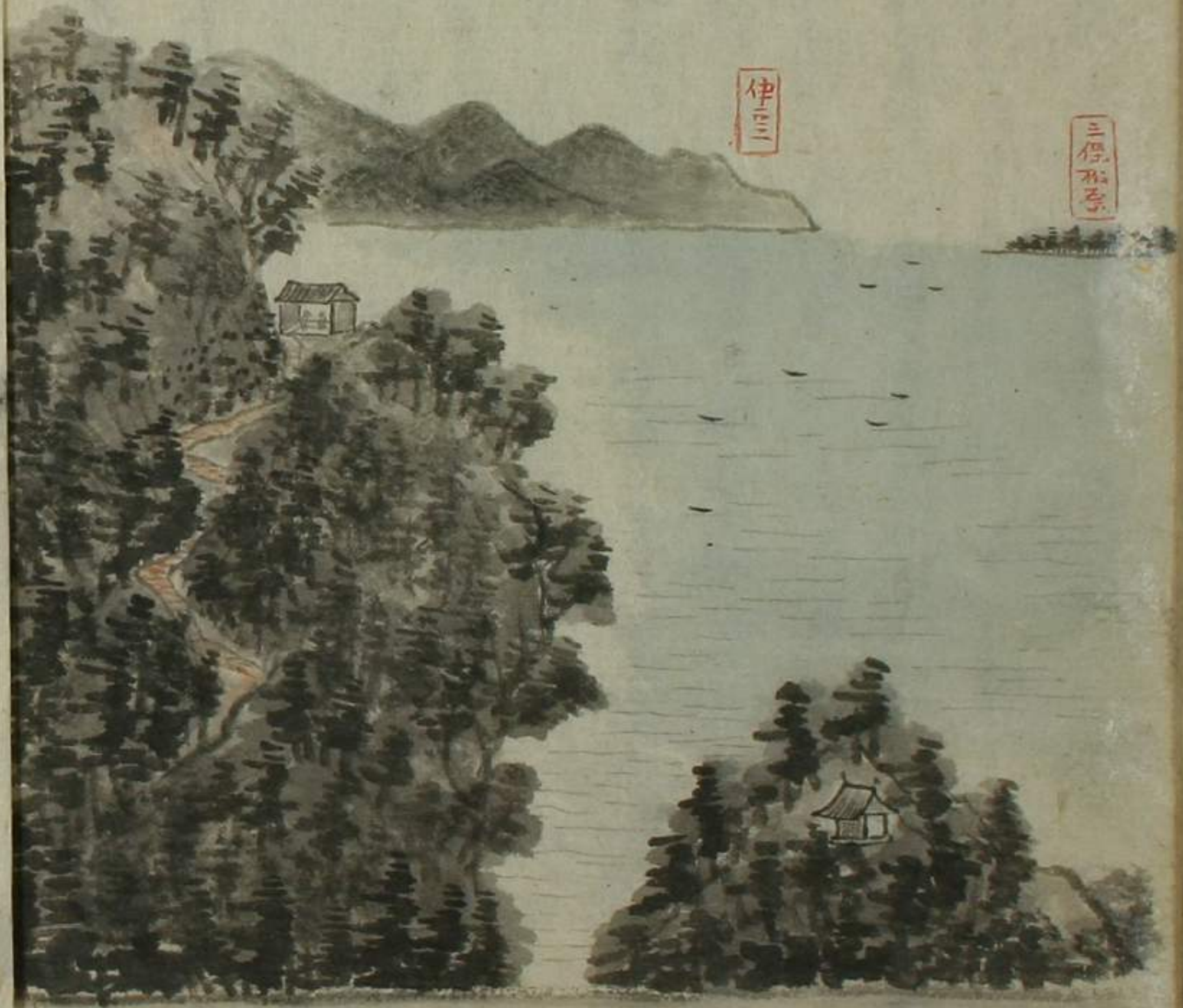


薩埵園圖

巖巖遠望  
多噴煙  
影  
子孫  
久玉仙山

伊三

三徳聖



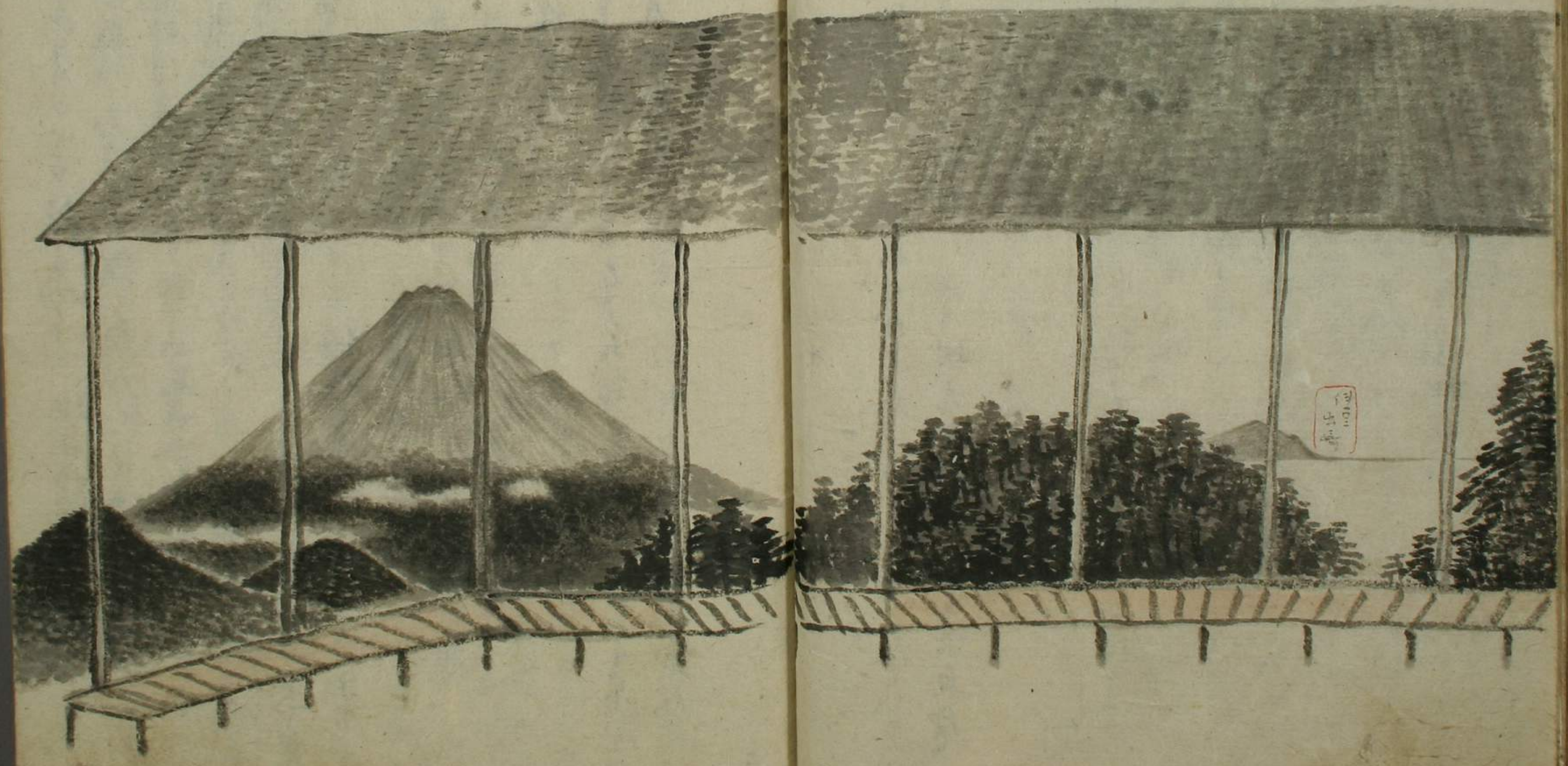
巖巖遠望  
多噴煙  
影  
子孫  
久玉仙山

巖巖遠望  
多噴煙  
影  
子孫  
久玉仙山





富士見茶屋















須山口

上ノ宮

二ノ宮

三ノ宮

四ノ宮

五ノ宮

六ノ宮

七ノ宮

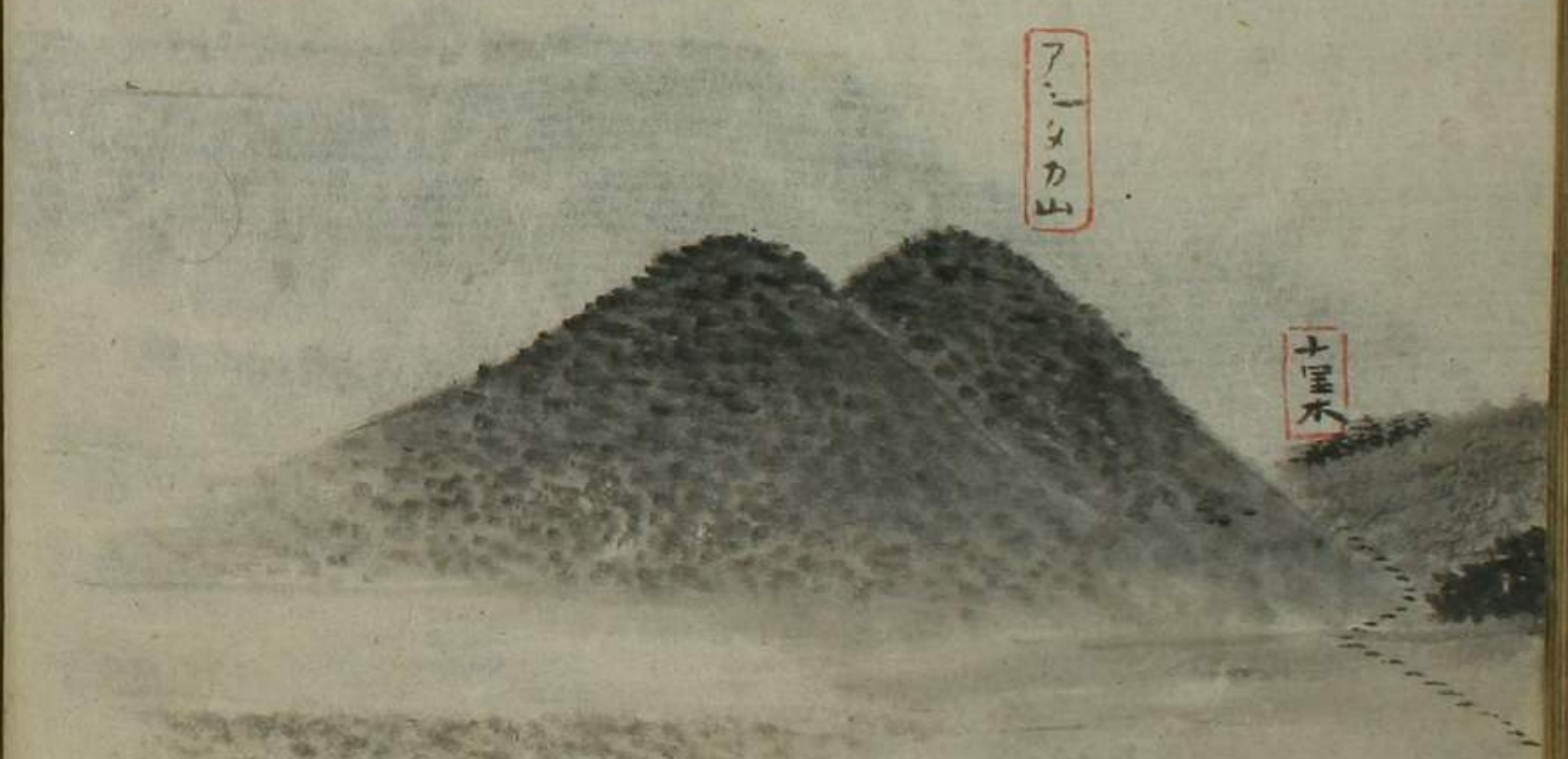
八ノ宮

九ノ宮

〇目九  
 城一ノ堅狼城一  
 目第一ノ城一皆然常  
 城を海と山と  
 狼生しぬ  
 登すべし山屋

〇目八  
 深井山崎崎  
 中務通カ  
 尖高年一  
 日在杉指眼  
 中務通カ  
 山崎崎  
 〇目七  
 〇目六

十ノ山崎崎  
 〇目五  
 〇目四  
 〇目三  
 〇目二  
 〇目一



アノメカ

十屋木







ゆげおんをうたふやあうりーしりの羅くし一舟の海あふ  
くろくろのせうに果はいもくせしんせしんしんしんしんしん  
あうもろくろのせうに果はいもくせしんせしんせしんせしん  
んせ

十四日

おろくろのせうに果はいもくせしんせしんせしんせしん  
あうもろくろのせうに果はいもくせしんせしんせしんせしん  
んせ

九月

はのせうに果はいもくせしんせしんせしんせしん  
あうもろくろのせうに果はいもくせしんせしんせしんせしん  
んせ

十月

○七月  
其十二

其十三  
其十四  
其十五  
其十六  
其十七  
其十八  
其十九  
其二十

○七月

其二十一  
其二十二  
其二十三  
其二十四  
其二十五  
其二十六  
其二十七  
其二十八  
其二十九  
其三十

七月の初めは、いよいよ秋の気配が濃くなり、草木の紅葉が始まりました。この季節は、静寂と美しさを感じさせるものです。また、農作の収穫期を迎え、人々の心も豊かになっています。

この頃、各地で祭りが行われ、人々の心も豊かになっています。また、農作の収穫期を迎え、人々の心も豊かになっています。この季節は、静寂と美しさを感じさせるものです。

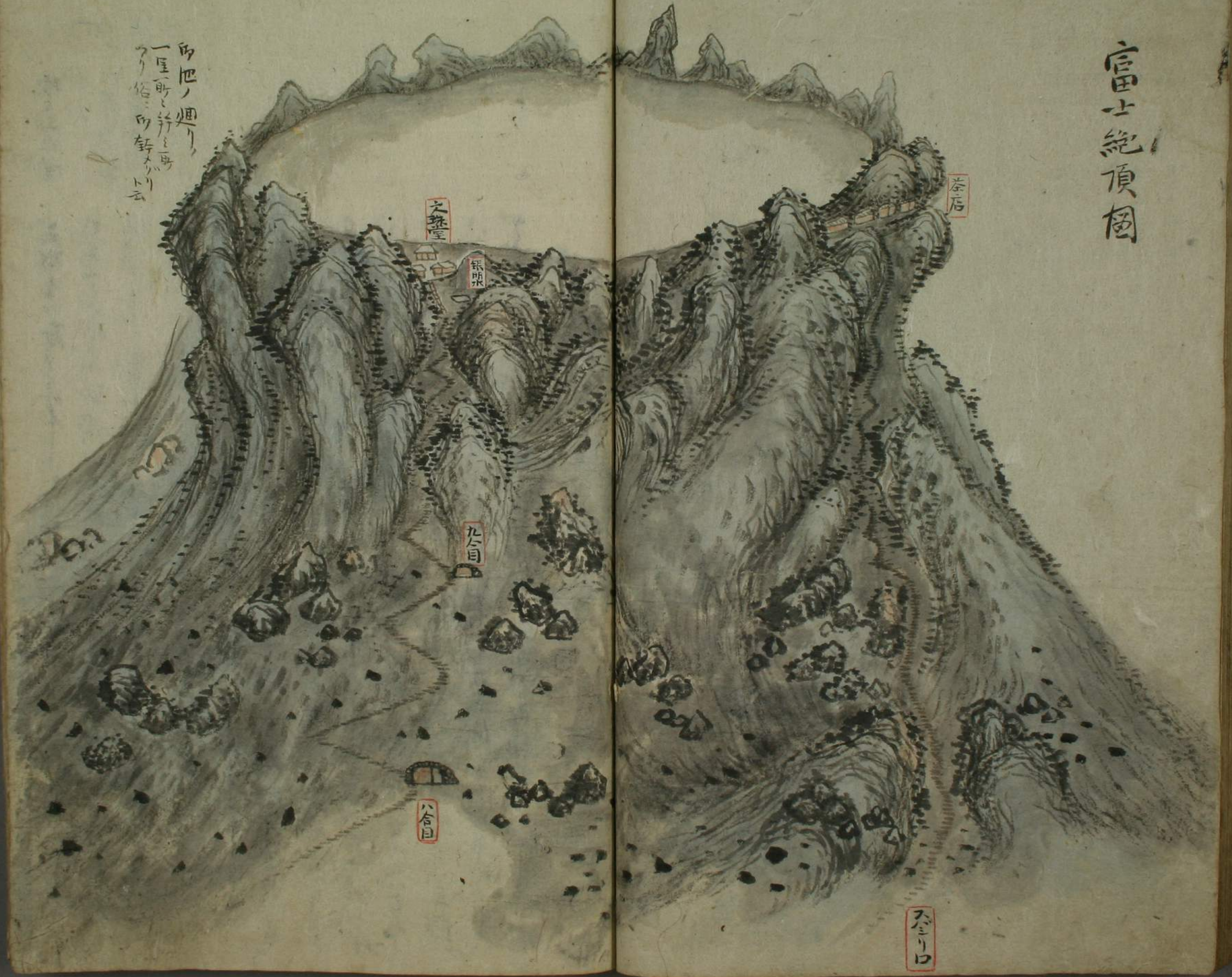
○七月

其二十一  
其二十二  
其二十三  
其二十四  
其二十五  
其二十六  
其二十七  
其二十八  
其二十九  
其三十

七月の初めは、いよいよ秋の気配が濃くなり、草木の紅葉が始まりました。この季節は、静寂と美しさを感じさせるものです。また、農作の収穫期を迎え、人々の心も豊かになっています。

○七月  
其二十一  
其二十二  
其二十三  
其二十四  
其二十五  
其二十六  
其二十七  
其二十八  
其二十九  
其三十

富士絶頂圖



所也ノ煙リ  
一屋所ノ并ニ  
アリ俗ニ所  
新カカリ云

之登屋

銀原

九合目

八合目

茶店

ふじり口



スハシロ  
り

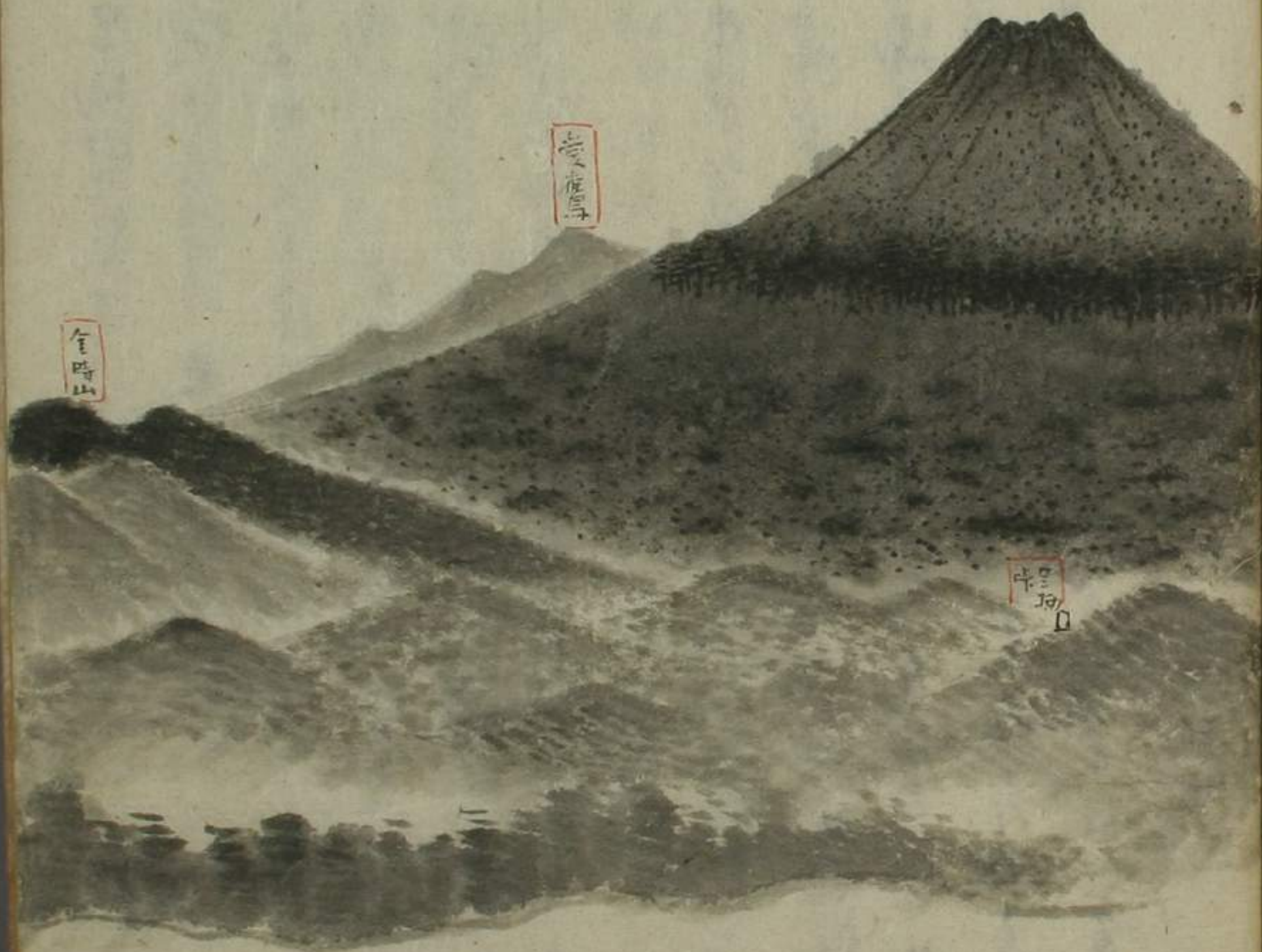
七  
月

二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十

一  
今  
日  
二  
日

スハシロ  
り  
七  
月

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十



かりり  
不ニヤウ  
五月廿二日

庭に世に水鳥とての  
かみりきほけり  
とわりのまねを  
まじりてかき  
いそぎに  
いそぎに

たろに  
いそぎに

一ろせり  
一ちり

お菊

お小

お菊の  
お小の  
お菊の  
お小の  
お菊の  
お小の  
お菊の  
お小の

一ろせり  
一ちり



大山寺法

不動尊

うらみなく... 大山寺... 不動尊... 山は... 水は... 雲は... 霧は... 雨は... 雪は... 花は... 鳥は... 虫は... 魚は... 草は... 木は... 石は... 土は... 空は... 地は... 天は... 地は... 人々... 畜生... 餓鬼... 地獄... 浄土... 如来... 菩薩... 阿羅漢... 聖人... 賢人... 君子... 淑女... 英雄... 名將... 博士... 学者... 政治家... 社会... 経済... 文化... 芸術... 宗教... 教育... 医療... 産業... 科学... 技術... 環境... 倫理... 道徳... 法律... 政治... 経済... 文化... 芸術... 宗教... 教育... 医療... 産業... 科学... 技術... 環境... 倫理... 道徳... 法律...

雨降山心

題大山石真群卷

大山靈驗藏... 新被髮... 振鈴... 諸頻胸盤一心... 不亂願... 唱六根清淨... 身... 下者揚扇言苦... 上者偶岩歎屈伸... 借問... 大川所天狗... 何... 許道... 貴仁神... 右

うらみなく... 大山寺... 不動尊... 山は... 水は... 雲は... 霧は... 雨は... 雪は... 花は... 鳥は... 虫は... 魚は... 草は... 木は... 石は... 土は... 空は... 地は... 天は... 地は... 人々... 畜生... 餓鬼... 地獄... 浄土... 如来... 菩薩... 阿羅漢... 聖人... 賢人... 君子... 淑女... 英雄... 名將... 博士... 学者... 政治家... 社会... 経済... 文化... 芸術... 宗教... 教育... 医療... 産業... 科学... 技術... 環境... 倫理... 道徳... 法律...













昌川石川の泉岳の山に三つもの大池あり其塔の  
池の西に三つもの口橋あり衆僧の池あり其より西に七ま  
塔あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの  
石塔あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの  
池あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの  
昌川石川の泉岳の山に三つもの大池あり其塔の  
池の西に三つもの口橋あり衆僧の池あり其より西に七ま  
塔あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの  
石塔あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの  
池あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの

一  
一

昌川石川の泉岳の山に三つもの大池あり其塔の  
池の西に三つもの口橋あり衆僧の池あり其より西に七ま  
塔あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの  
石塔あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの  
池あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの

昌川石川の泉岳の山に三つもの大池あり其塔の  
池の西に三つもの口橋あり衆僧の池あり其より西に七ま  
塔あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの  
石塔あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの  
池あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの  
昌川石川の泉岳の山に三つもの大池あり其塔の  
池の西に三つもの口橋あり衆僧の池あり其より西に七ま  
塔あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの  
石塔あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの  
池あり其より西に三つもの大池あり其より西に三つもの







吾身橋傳之至也  
一可也又及多橋而高  
一可也又及多橋而高

視形而志結之  
一可也又及多橋而高

互在り官古交  
一可也又及多橋而高

付起小地高之  
一可也又及多橋而高

うるふふふふ  
一可也又及多橋而高

あふふ  
一可也又及多橋而高

亦八口

江戸京山  
一可也又及多橋而高

富士  
一可也又及多橋而高

花伝  
一可也又及多橋而高

一可也又及多橋而高

一可也又及多橋而高

